

# 福島原発災害チャリティー講演会

主催：医療放射線防護連絡協議会

共催：日本医学放射線学会 [www.radiology.jp](http://www.radiology.jp)

後援：日本医学会

日本放射線技術学会

東日本大震災に伴う福島原発災害により、多くの市民が、放射線・放射能への極度の不安と混乱に陥りました。今後の健康影響への深刻な事態も予測されています。また、福島原発災害からの放射能による、食品・飲料水への汚染は、大きな社会問題です。乳児やお腹の赤ちゃんへの健康影響を心配した、母親など家族の、極度の不安やストレスも懸念されています。

私たちは、日頃、医療の放射線利用と医療安全・放射線安全に係っています。今後も放射線・放射能を安全に利用し、その恩恵を市民と共有し続けるためには、この大惨事を皆様と一緒に克服しなければなりません。

放射線影響、食品衛生の基本をもう一度学びましょう。その後、会場の皆様と知恵を絞り、現状を受け入れて、再び前に進む方策を提言します。

(本講演会は参加費を無料とし、お志を東日本巨大地震災害義援金として受け付けます。)

◆ 日 時：平成 23 年 3 月 27 日（日）13 時～16 時（12 時開場：10 時 30 分整理券配布開始）

事前申し込み不要

◆ 場 所：メルパルクホール 東京都港区芝公園 2-5-20 電話 03-3459-5501

JR 山手線・京浜東北線 浜松町駅北口または南口から徒歩約 8 分

都営地下鉄三田線（東急目黒線乗入） 芝公園駅 A3 出口から徒歩約 2 分

◆ テーマ：福島原発災害にともなう放射線影響とは ——放射線・放射能から大切な命を守ろう！——

◆参加費：無料（災害義援寄付を受け付けます）

## ◆ 内容

開催挨拶 13:00-13:15

日本医学会会長

高久 史麿

日本医学放射線学会理事長

杉村 和郎

教育講演 13:15-13:55

司会：中村信仁（日本医学放射線学会 防護委員長）

放射線の健康影響

丹羽太貫（京都大学名誉教授）

パネル討論会 14:10-15:55

司会：大野和子（京都医療科学大学）

1. 対応を影響量から考える

菊地 透（医療放射線防護連絡協議会総務理事）

2. 食品衛生の基準値

香山不二雄（自治医科大学）

3. 正確な情報収集

清 哲朗（元厚生労働省医療放射線管理専門官）

4. 医療関係者に必要な基礎知識

大野和子（京都医療科学大学）

パネリスト講演に引き続き、参加者を交えた討論により今後の対応策を考えます

指定発言 川野龍太郎 他数名

閉会挨拶：佐々木 康人（医療放射線防護連絡協議会会長）（5分）

問い合わせ先：医療放射線防護連絡協議会 事務局 Email：jarpm@chive.ocn.ne.jp

東京都文京区本駒込 2-28-45 日本アイソトープ協会内